

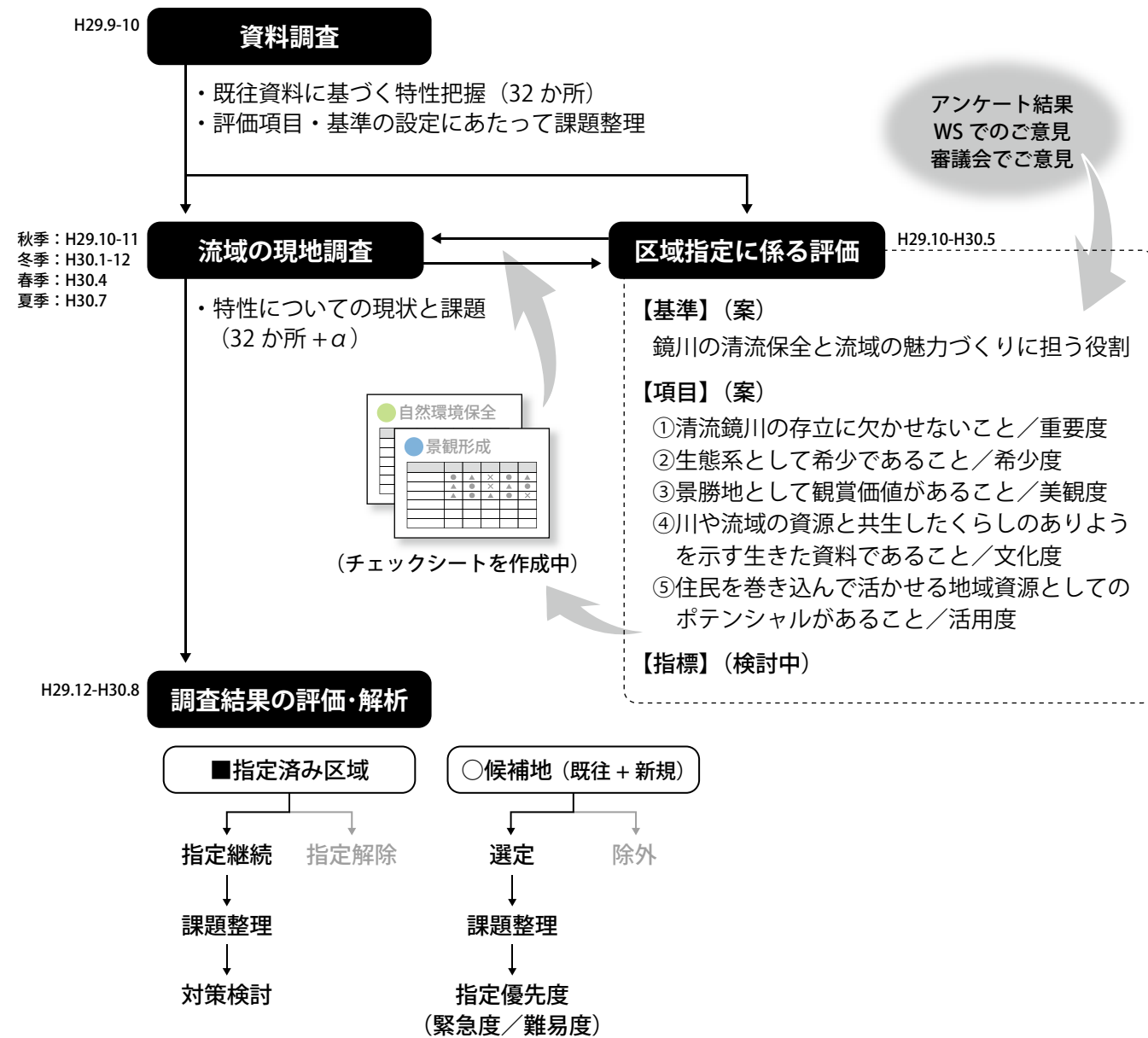
指定候補地の選定までの流れについて

指定済み区域・候補地には自然物と人工物が混在し、生態系の保全が重視されるもの、耕作等の営みの存続が欠かせないもの、人々に活用されることで価値が生まれるものなど、その特性は多岐にわたる。区域指定にあたっては、指定済み区域および候補地の精査、それらの保全等に係る課題の整理のため、下のフローに示す調査および評価を行う。

「流域の現地調査」と「区域指定に係る評価」は並行して行う。後者の作業において評価の基準・項目・指標を検討し、これらをチェックシートとして整理する。現地調査ではチェックシートを野帳として用いる。

調査後、記入済みのチェックシートをもとに各区域・候補地の「調査結果の評価・解析」を行う。

【区域指定に係る評価のフロー】



【調査対象地：指定済み区域・既往候補地】



【指定済み区域・既往候補地の概況】

凡例 | ■ 自然環境保全区域（指定済み） ● 自然環境保全区域の候補地 ● 景観形成区域の候補地 ● 自然環境保全区域および景観形成区域の候補地

 <p>■ 筆山 特定植物群落/鏡川 20 景 目立った変化はなく、良好な状態で維持管理されていると推察される。周辺部の都市化の進行により、対岸からの眺望は必ずしも良好とは言えない。</p>	 <p>● 高川溪谷 鏡川 20 景 目立った変化はなく、良好な状態で維持されていると推察される。</p>	 <p>● 桑尾の沈下橋 上下流の河床の高低差が大きい。上流に砂礫の堆積が目立ち、橋が流れや土砂移動を阻害している可能性が高い。路側擁壁による河川景観の質の低下が懸念される。</p>	 <p>● 鏡地区の石灰岩地植生 良好な状態にあると推察され、今後も維持されると予想される。特定植物群落。</p>
 <p>■ 山内神社の森 目立った変化はなく、良好な状態で維持管理されていると推察される。</p>	 <p>● 桑尾の石灰岩地植生と穴の谷峡谷 特定植物群落/鏡川 20 景 良好な状態にあると推察され、今後も維持されると予想される。</p>	 <p>● 弘瀬の沈下橋 流れ等の阻害は見られないものの、県道からは電柱やコンクリート構造物が目立ち、河川景観としての質の低下が懸念される。アユ釣り客が見られた。</p>	 <p>● 柿ノ又河内神社とその周辺 境内は手入れが行き届き、社殿や鳥居などにも目立った損傷はなく、良好な状態が保たれている。</p>
 <p>■ 石立八幡宮の森 目立った変化はなく、良好な状態で維持管理されていると推察される。</p>	 <p>● 大穴峡と石灰岩地植生 特定植物群落/鏡川 20 景 良好な状態にあり、今後も維持されると予想される。「大穴」は植生で塞がれている。水遊びを楽しむ人々で賑わっていた。</p>	 <p>● 桑尾橋（吊り橋） 橋の本体部分がなくなっている。右岸側では転倒したコンクリート構造物（アンカレッジ）が残され、旧道を半分ほど塞いでいる。</p>	 <p>● 竹奈路河内神社とその周辺 社殿が老朽化。高知大神宮にご神体を遷し、社殿を取り壊した後、跡地に石碑を建立する予定（河内神社公示より）。</p>
 <p>■ 朝倉神社の森及びその裏山 社寺林、裏山とも良好な状態にあると推察される。</p>	 <p>● 樽の滝 鏡川 20 景 良好な状態にあり、今後も維持されると予想される。下流部には原生的な溪谷林が維持されている。遊歩道は歩きやすいが、入口の木橋は経年劣化が予想される。</p>	 <p>● 山姥の滝・ゴトゴト石 鏡川 20 景 いずれも良好な状態にあり、今後も維持されると予想される。</p>	 <p>● 違野的淵川と巨岩のある水田風景 複数の巨石に囲われた庭園のような水田。かつて市道から見渡すことができたが、現在は植生の繁茂により眺望が阻害されて</p>
 <p>■ 岩ヶ淵及びその裏山 特定植物群落/鏡川 20 景 淵に目立った変化はなく、裏山は良好な状態にあると推察される。</p>	 <p>● 平家の滝・森林公園 鏡川 20 景 良好な状態にあり、今後も維持されると予想される。ただし、滝壺への案内がややわかりにくい。</p>	 <p>● 畑川橋と水泳場 堰上流の湛水域を活かした水泳場。川へ下りる階段や日除けが設置されるなど利用面に配慮された空間となっている。家族連れで賑わっていた。</p>	 <p>● 重倉地区の棚田 緩やかな棚田。祠が祀られ一本杉が残るなど、昔からの文化が大切にされているようすがうかがえる。開発による景観の質の低下が懸念される。</p>
 <p>■ 川上不動尊の森及びその周辺の森林 社寺林、周辺の森林ともに良好な状態にあると推察される。</p>	 <p>● 夫婦岩 鏡川 20 景 周辺の崩壊地の復旧工事に伴う通行規制により、視認が困難。</p>	 <p>● 菖蒲洞と白山神社（イチイガシ） 鏡川 20 景 いずれも良好な状態。菖蒲洞入口に露出していた配管は暗渠化により修景され、見学しやすくなっている。</p>	 <p>● 領家地区の棚田 斜面地に拓かれた大規模な棚田。石垣の補修は空石積により行われている。耕作や棚田の維持管理の継続が課題である。</p>
 <p>■ セツ淵神社の森及びその周辺の森林 鏡川 20 景 社寺林、周辺の森林ともに良好な状態にあると推察される。</p>	 <p>● 的淵熊野神社とその周辺 社殿など境内は概ね良好な状態にある。</p>	 <p>● 狩山河内神社（イチイガシ）と吉原川 鏡川 20 景 イチイガシは伐採済み。社殿など境内は手入れが行き届いている。吉原川は親水性が高く、堰上流の湛水域は親子連れで賑わっていた。</p>	 <p>● 鏡川本川上流域の堰群 外観は保たれていると推察される。農業用水の取水に利用されているが、稲作から畑地等への転換や耕作放棄地が増加し、その役割は変化しつつある。</p>
 <p>● 工石山の森林とサイの河原 特定植物群落/鏡川 20 景 目立った変化はなく、良好な状態で維持されていると推察される。河原は案内板や標識などの人工物がやや眺望を阻害している。</p>	 <p>● 御霊神社とその周辺 社殿など境内は概ね良好な状態にある。神社脇の高川川では、親子連れが水遊びをしていた。</p>	 <p>● 吉原溪谷 鏡川 20 景 目立った変化はなく、良好な状態で維持されていると推察される。</p>	 <p>● 坂口地区の棚田と石垣 斜面地に拓かれた棚田。一部萱場に置き換わっているものの、良好な状態が維持されている。</p>

注) 写真およびコメントは、平成 28 年夏季に行った現地踏査の結果による。